

【ローカルルールの詳細について】

『はじめに』

新宿区シニアサッカー連盟では、すべての参加者がサッカーを楽しむため、競技志向ではなくエンジョイ志向を追求しサッカーを楽しむことを理念としています。そのため、生涯スポーツとして怪我なくサッカーを続けられるようローカルルールを制定いたします。

しかしながら、サッカーに限らずスポーツには怪我は付き物です。特にサッカーは接触による怪我のリスクが非常に高い競技です。どのような怪我であっても新宿区シニアサッカー連盟および新宿区サッカー協会はその責務を負うことはできません。規約（第15条 加盟資格）にある通りスポーツ障害保険（連盟として、スポーツ安全協会のスポーツ安全保険を推奨します）に必ず加入していただくようお願いいたします。

【ローカルルールについて】

（１）競技者が身につける物について

- ・結婚指輪のみ、上からテーピング等で保護すれば出場を認める。
- ・ユニフォームの下に着るものは、ジッパー等の金具類がないものに限り、色は無関係で着用可能とする。
- ・原則、チームで統一したユニフォーム（統一した色）で、出場しているフィールドプレイヤーは全てが異なる背番号を付けること。（ビブス着用時も含む）ただし、少人数かつ試合に影響がない程度のデザイン違い等は認める。出場可否の最終判断は主審と本部役員が行う。
- ・GKは、両チームのフィールドプレイヤーのシャツ色と被らなければ、背番号がなくても、ジッパー等の金具類がないものに限りジャージやピステ等でも出場可能とする。
- ・対戦表の左側記載チームをホームチーム、右側記載チームをアウェイチームとし、原則ホームチームはホーム用ユニフォームを着用する。アウェイチームは対戦相手チームのホーム用ユニ色を必ず事前確認し、当日の自チームユニ色を決めて下さい。（ビブス着用可能です。シャツとソックスの同系色は避ける。どうしても場合は、ソックスの色被りのみ認めるが、ジャッジに影響を与えます）

連盟 HP 添付【加盟チームユニフォーム一覧】参照。

（２）スライディングタックルの反則

スライディングタックルの定義

相手競技者に対して、以下のような事例があった際はスライディングタックルとする。

- 例１）両足又は片足のどちらかの膝下が地面に触れている状態で、足でボールへチャレンジすること。
- 例２）足でボールへチャレンジした直後に、両足又は片足のどちらかの膝下や腰やお尻、腕や手が地面に触れる状態。（チャレンジ直後に相手競技者に押された又はぶつかられた等の影響があった場合は除く）
- 例３）すでに地面に転んでいる又は座っている状態で、足を相手選手方向へ振ること。

<以下共通理解としてください>

ファウルとなる場合

1. 相手競技者へ『接触する又は接触する可能性がある」と判断した』スライディングタックルはファウルとする。
2. 「故意でなく滑ってしまっただけ」「相手の足ではなくボールに先に触れている」場合でもファウルとする。
3. スライディングタックルは、故意であったか、なかったかは関係なくファウルとなります。

ファウルとならない場合

1. 相手競技者と接触する可能性がない場面におけるスライディングは反則ではありません。
 - ・相手競技者と接触する可能性がない場面におけるスライディングシュートやパスカット
 - ・ライン際でボールが出ないようスライディングでボールをキープした場合
2. 守備側ゴールキーパーのペナルティエリア内でのスライディングタックルは**ファウルではない**。
(ペナルティエリア外は、ファウルとする)

プレーの再開

1. スライディングタックルした地点からの間接フリーキックで試合再開となります。
但し、ボールに先に触れたのではなく相手競技者の身体の一部に先に触れて、相手競技者のプレーを阻止したのであれば、通常通り直接フリーキックからの試合再開となります。
2. 守備側のペナルティエリア内でのローカルルールのスライディングタックルのファウルはPKではなく、その地点からの間接フリーキックでの試合再開とする。
(ゴールエリア内は、ファウルのあった地点から最も近いゴールライン上からの間接フリーキックで試合再開とする。)

(3) イエローカード・レッドカードに関して

- ・イエローカード1枚につき500円、レッドカード1枚につき1000円を次年度総会時に徴収します。(リーグ戦、区民大会ともに)
- ・リーグ戦でのイエローカード累積による出場停止処分はない。
- ・リーグ戦でのレッドカードによる次の試合への出場停止処分はない。
- ・区民大会でのイエローカード累積による出場停止処分はない。
- ・区民大会でのレッドカードは、次の区民大会の試合が出場停止となる。(区民大会だけで適用)
- ・区民大会の最終戦でレッドカードが出た選手は、翌年の区民大会初戦に出場停止となる。
- ・どの試合においても退場処分になった選手がベンチ内にいることを認める。

※どの試合においても著しく悪質な言動については、罰金や出場停止処分(1試合)だけでなく、役員会(運営委員会)にて追加処分をする可能性もあります。

(4) 不戦敗について

- ・出場可能年齢以下の選手が出場した場合や規定人数に達しない場合は、不戦敗となりスコアは0-3とする。
- ・不戦敗とした場合は、ペナルティ金1,500円を次年度総会時に徴収します。
(リーグ戦、区民大会ともに)

新宿区サッカー協会が掲げている「まちづくり、人づくり、地域との連携」に寄与できるよう、各チームでプレイヤー・主審・副審・フィールドにいるすべてのメンバーが楽しめるような雰囲気づくりを周知徹底お願いいたします。